



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

6月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



6.11 栗田 倫太郎くん 上町
やる気満々、いつも笑顔の頑張り屋！姉ちゃんが僕の目標です！



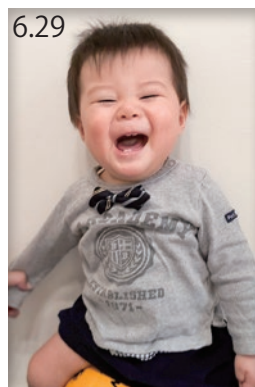
6.10 菊地 昶輔くん 柿原
ねえね大好き♡ 食べることも大好きでとっても好奇心旺盛です。



6.8 河内 ここみちゃん 田中
私は歌とぬいぐるみが大好きです。毎日元氣いっぱいです。



6.7 久保 希帆ちゃん 内子12
わたちの練習を頑張っています。お姉ちゃん、たくさん遊ぼうね♡



6.29 宮本 藍くん 西沖
みやもとらん！ビッグな男に俺はなる！



6.22 土居 翠羽くん 内子20
たれ目がチャームポイント！早くお兄ちゃんたちと走り回りたいな。

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。



INSTAGRAM みんなが見つけた／

内子のいいところ「うちコト」

「#うちコト」を付けて投稿してくれた写真を紹介します。皆さんも#うちコトで内子町の「すてき」を投稿してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ！ぜひ、フォローしてみてね！QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



ukll77 さん
泉谷の棚田のシャクナゲに囲まれて。



suzunada さん
新緑の小田川に浮かぶ筏の風景。

FROM ME TO YOU



みんなであつないでリレーエッセイ



運転手

土居 和博さん(44)

|| 富長 ||

私は長距離トラックの運転手をしています。もともと車の運転が好きで、22歳のとき

に大型免許を取得し、物流の世界に飛び込みました。全長12mの大型トラックに乗って北は仙台、南は鹿児島まで走ることもあります。

この仕事はただ運転するだけではありません。交通ルールを守りながら効率よく、目的地に到着する必要がある。車を動かす前には運行計画を立て、ルートや道路状況をチェック。運転中は大きな車体を安全に動かすため、細やかな目配りを心掛けています。時間通りに無事に荷物を届けられるよう、責任を持ってハンドルを握っています。荷物の積み降ろしも大事な作業の一つ。内子町の特産品の柿などは、多いときで1000箱ほどを運送します。手作業で積み降ろすので、体力や忍耐が求められる、なかなかタフな仕事です。

でも、しんどいことばかりではありません。運転席からきれいな景色を眺めたり、日本各地の美味しいご飯を食べたりと、この仕事ならではの楽しみもあるのです。静岡県を走っていたときに見た、雪が積もる富士山と太平洋の眺めは最高でした。物流は日本の経済や人々の生活を支える根幹です。その一翼を担っていると思えば、仕事への誇りも生まれます。苦労も多いですが、その分やりがいを感じられる職種です。若者にも運送業界に興味を持ってもらい、日本を支える力となり、一緒に頑張ってくれ人が増えたらうれしいです。今後もプライドを持ってこの仕事を続けていきたいです。

▼次は、上田和輝さん||和田|| にお願ひします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

今月の食改さん／



やすこ 向井 康子さん
＝新田第2＝

●材料(4人分)

キュウリ 1本
トマト 1個
ツナ(油漬け) 60g
砂糖 小さじ1
濃い口しょうゆ 小さじ2
酢 小さじ2
ごま油 小さじ1
すりごま 小さじ2

●作り方

- ①キュウリは千切りにし、キッチンペーパーで水気を拭く。トマトはヘタを取り、一口大に切る。
- ②ボウルに①の調味料を入れて、混ぜ合わせる。
- ③油を切ったツナと①を加えて、あえる。
- ④器に盛り付けて完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH

「キュウリとトマトの中華風ツナサラダ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」6月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①小田・中川地区にある「●○○○○」相撲場跡が3月25日、町の有形民俗文化財に指定されました
- ②わき見運転は重大な事故につながります。愛媛県警察では「●○○○！」運転プロジェクトを実施中
- ③図書情報館では、郷土の芸術家「●○○○○」さんの版画展を開催
- ④子どもたちの元気が、内子町の元気。恒例の「○●○○○○○○○○○」が5月17日に行われました
- ⑤戸籍の氏名に「○●○○」が記載されます。誤りがあれば届け出を

応募方法：ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛先：〒795-0392
内子町平岡甲168番地 内子町役場企画情報課 広報・広聴係
締め切り：6月30日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」8月号

● 4月号当選者の皆さん

答え「しんせいかつ」 正解数23

- ・武智 幸雄さん（内子10）
- ・石田 彩珠さん（内子18第2）
- ・山本 陽子さん（内子19第1）
- ・中谷 竜介さん（長田）
- ・大成 静子さん（下重松）
- ・城本 幸子さん（中川西）
- ・伊達 孝子さん（小田上）
- ・久保 勇治さん（大洲市）
- ・廣藤 順子さん（大洲市）
- ・山本 真一さん（松山市）

湿度が高くなる梅雨は、寝苦しさにも悩む人も多いのではないだろうか。今回は冷房や除湿機を使わず、ペットボトルで簡単にできる除湿方法を紹介します。節電しながら梅雨を涼しく乗り切りませんか。

くらしのエコロジー

凍ったペットボトルで梅雨のじめじめを除湿

- 《除湿方法》
- 準備物
▽空のペットボトル（表面積が大きいほど効果が上がる）
▽トレーやボウル
 - 手順
①ペットボトルに8割ほどの水を入れて凍らせる
②除湿したい部屋にボウルやトレーを置いて、その中に凍ったペットボトルを置く
 - 湿気が取れる理由
空気中の水分量は、気温が下がるほど減ります。凍ったペットボトルを置くと空気が冷やされ、表面に水分が付着することで除湿されます。



部屋の広さや気温で、ペットボトルの大きさや本数を調節

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159

●さらに涼しくするには
扇風機などで、空気を循環させるとより効果的です。
※気温が高いときは無理をせず、適切に冷房を使用しましょう。状況や体調に合わせて取り組んでください。

VOICE まちの声

畑の土壌診断を受けたい

□内子町では無料で土壌診断をしてもらえると聞きました。家庭菜園をするような小さな畑でも診断できますか。（30代男性）

■できます。茶わん一杯分の土を採取して、農村支援センターに提出してください。

対象者や採取方法など、詳しくはご相談ください。内子町ホームページでも確認できます。

ID138137

【問い合わせ】
農村支援センター

☎0893(44)2199

まだまだ続く、米作りの飽くなき探求

久保 徳太郎さん（77）＝下宿間＝

「令和6年度飼料用米多収日本一」の表彰者が発表され、久保徳太郎さんが「地域の平均単収からの増収の部」で日本農業新聞会長賞に選ばれました。大洲市・喜多郡では初の受賞となります。

約60年、米作りを続ける久保さん。主食米に加え、4年ほど前から飼料用米の生産も始めました。作付面積は約1.9㍏。昨年の収量は10㍏当たり784kgで、地域平均を280kg余り上回りました。栽培のコツは「肥料は窒素分を多めに、水はたっぷり。水量が豊富で、畦が高くないとできない」と語ります。大洲・内子の飼料用米農家で組織する研究会に所属する久保さんは「会員同士の情報交換もいい刺激に。多い人は10町歩作る。まだまだひよこです」と笑います。

これまで酒米も含めて10種類以上の米を栽培し、「ばっちり、という年はなかなかないが、品種や気候による違いもだんだん分かってくる」と久保さん。肥料をやる量やタイミングなど、試行錯誤が続きます。「人と違うこと、試すことが好きだから。これからの勉強ですよ」と笑みがこぼれました。



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手
ゴイツェオーネ・トップマン・ロバーツ

Goitseone Topman Roberts

アフリカ出身の「江戸の殿様」

皆さんは映画で「タイムスリップして過去に迷い込む」という物語を見たことはありますか。私はつい最近「日光江戸村」を訪れ、まるで映画のような体験をしました。

そこは江戸の町を再現したテーマパークで、一歩足を踏み入ると周りの人たちはみんな当時の格好をしています。私も江戸の人になりきろうと殿様に変身。着物はずっしりと重くて、一国の主が背負う重みを感じるようでした。気品もある装いに、とても裕福になった気分が心地よかったです（笑）。町には昔ながらの木造建築が並び、車や電柱などは一つもありません。西洋文化が入る前の生活を見ていると、母国にも南アフリカの伝統的な暮らしを伝える施設があるのを思い出しました。昔は現代のようにせかせかしていなくて、ゆっくりと時間が流れている——。生活はシンプルでも、心の豊かさがあるように思います。

当時の消防方法を学べる資料館の見学では、道具や格好が今とは全く違っていて驚きました。忍者の修行が体験できる忍者屋敷では、天地が入れ替わったような構造に頭の中が大混乱。夢の中にいるようで足元がふらつき、歩くことさえ難しかったです。

日光江戸村では当時の日本人の暮らしを楽しみながら知ることができ、最高の経験になりました。もし私が本当に江戸時代に生きていたら、きっとまた殿様になってみたいと思うでしょう。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ